札幌市立南郷小学校　　学校だより 第５号
令和８年 7月２４日

南郷

【学校電話】011-861-9305

【学校ホームページ】
https://www.nango-e.sapporo-c.ed.jp/

夏休みの捉えアップデートする
～体験を共有し、絆を深める夏休みに～

校長　関根治彦

私は旅行が嫌いでした。大学生のころは車やバイクで旅行に出かけたりもしましたが、目的は観光ではなく、運転することでした。そのため船や飛行機で行く旅行は、移動しているときはすることもなく、何をしていいのか分からずに、苦痛以外何もでもありませんでした。旅行好きの妻とはそれでけんかになることもありました。

しかし、息子が生まれ、1歳になる年に、初めて海に連れて行きました。私は海でカニを捕まえ、バケツの中にカニを入れて息子に渡しました。息子は何とかカニを触ろうと挑戦していました。家に帰ってきたときに息子に、「カニさんってどんなふうに動くの？」と聞くと、手でハサミを使って横に動くのではなく、足を曲げたり伸ばしたりして、バタバタと動かしたのでした。私は、息子に経験させることの大切さと、その経験を共有することの喜びを感じ、それを境に旅行好きに変わりました。

まぶしい太陽の光とともに、子どもたちが待ちに待った夏がやってまいりました。新年度がスタートしてから早いもので約４か月が経ちます。この1学期、子どもたちは日々の学習や運動、様々な学校行事を通して、大きく成長してくれました。1年生は学校生活にすっかり慣れ、上級生たちもそれぞれの目標に向かって粘り強く取り組み、頼もしい姿を見せてくれています。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、日頃より本校の教育活動に温かい御理解と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、いよいよ明日から子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。30 日間にわたるこの長期休業は、学校という枠組みから離れ、家庭や地域という大きな社会の中で過ごす大切な時間です。

私の息子とカニの話のように、子どもたちは実体験を通して親が想像もしないようなものの見方や気付きを獲得します。それは旅行やキャンプといった特別なイベントに限る必要はありません。一緒に夕飯の準備をしたり、近所を散歩して夏の虫を探したり、一冊の本を一緒に読んで感想を語り合ったりする。そんな日常の小さな出来事でも十分です。大人にとっては何気ない日常であっても、保護者の方と一緒に同じものを見つめ、驚き、喜び、汗をかいた経験は、子どもたちの心に『愛されている』『尊重されている』という強い安心感と確信を育みます。是非、同じ時間を過ごし、同じ感情を分かち合う感動を届けてあげてください。

併せて、水辺の事故や交通事故、熱中症など、夏休み中は危険と隣り合わせの場面も増えます。子どもたちの指導とは事前にすることも大切ですが、その場での指導が最も効果的です。機会を見付けては、『自分の命は自分で守る』ことについて、御家庭でも改めて安全な過ごし方を話し合っていただければ幸いです。

夏休み明けの８月、たくさんの思い出と学びを胸に、一回りも二回りもたくましく成長した子どもたちと笑顔で再会できることを、教職員一同、心より楽しみにしております。御家族皆様で、安全で思い出深い充実した夏休みをお過ごしください。